

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 28-010
 担当 鈴木
 内線等 23-7341

PDCA	事務事業名	公民館管理運営事業	部課等名	教育部生涯学習課 生涯学習担当			
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち					
		節： 第2節 生涯学習の推進					
		基本施策： 2. 公民館活動					
		単位施策： (1) 自主的な公民館活動の促進					
根拠法令等	個別施策： ②地域課題の学習及び交流の場としての活用						
対象・目的	社会教育法、半田市立公民館条例、半田市立公民館条例施行規則						
目的を達成するための手段・活動内容	地域の生涯学習活動・地域活動の拠点となる地区公民館(14館)、生涯学習施設(2施設)の適切な管理運営を通して、幅広い世代の住民が多様な生涯学習活動に参加し、生きがいある生活を楽しむことができるようにする。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①地区公民館利用件数	30,108	27,376	16,995	件	
		②さくら・横川小学校生涯学習施設利用件数	737	690	339	件	
		③地区公民館ふれあい事業開催件数	251	231	75	件	
		事業費	73,204	65,093	64,911	千円	
		人件費	9,184	7,411	8,188	千円	
		総事業費	82,388	72,504	73,099	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①地区公民館利用者1人あたりのコスト	191	196	389	円/人	
		②さくら・横川小学校生涯学習施設利用者1人あたりのコスト	83	73	150	円/人	
	③地区公民館1人あたりのふれあい事業コスト	176	202	1,276	円/人		
	成果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①地区公民館稼働率(集会室・ホール)	実績値	76.8	73.8	60.3	%
			目標値	78.0	77.0	78.0	
②地区公民館ふれあい事業参加者数		実績値	30,120	25,863	4,031	人	
		目標値	33,000	31,000	33,000		
		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
事業の評価・課題	C 新型コロナウイルス感染症拡大により年度当初休館していたこと、また感染症予防の観点から施設の利用制限や事業の開催自粛などを行っていたことなどから、公民館稼働率・ふれあい事業参加者数は目標を大きく下回った。令和2年度はコロナ禍での安心・安全な施設利用への対応を優先した結果、課題としている高齢者だけではなく、若い世代を取り込めるような魅力ある公民館事業の展開に注力できなかった。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 地域住民が気軽に足を運べる公民館づくりを念頭に、各公民館ごとに地域の特色を生かした幅広い年齢層向けの事業を開催する。					
	令和3年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①地区公民館稼働率(集会室・ホール)	78.0	%			
		②地区公民館ふれあい事業参加者数	33,000	人			